



大阪市内でも、西区は特に子育て世代が増加中のエリアで、お祭りやイベントも若いファミリー層で活気づいています。共働き世帯も多いため、例えば私の担当地域の江戸堀会館では、誰もがいつでも自由に読書ができるライブラリーを設置するなど、子ども達の居場所づくりを心がけています。子ども達だけでなくママ達もコーヒーを飲み

ながら息抜きしたり、高齢者の方は自宅の本を寄付しに来てくださりそのままお話をされたりと、あらゆる年齢層の方が気軽に立ち寄れる場所になっています。他の地域でも、例えばこども食堂や独自の子育てサークル、イベントを実施するなど、各団体の方々と協力し、多世代の住民が孤立しない取り組みを行っています。

要支援者を取りこぼさない ますますのサポートに尽力

活動における課題は、まだまだ潜在的にいるはずの要支援者のサポートです。住民の約9割がマンション住まいという西区では、表札がない住戸も多く、個人情報観点から管理人による住民の情報提供も難しくなっているのが現状。年1回、ひとり暮らしの高齢者のお宅を訪問し、

状況把握を行っているものの、新たな支援対象者の把握はなかなか困難です。

新しく引っ越しされてくる方の中には、地域とのつながりを煩わしく感じて、あえて西区のような都会のマンションを選ばれる方も少なくありません。こういった方々の孤立化を防ぎ、

いざお困りの際にすぐにサポートを求めることができるように、区役所や区社会福祉協議会と連携しながら、地道なお声かけで私たちの日ごろの活動内容を知っていただくよう努めています。



身近な相談相手として何でもご相談ください

民生委員活動は100年以上の歴史を持ち、先輩方の功績を受け継ぎながら地域貢献を続けている取り組みです。私たち委員は、あくまで地域住民の一員であり、皆さんと同じ目線を持った「身

近な相談相手」として、日々の活動に取り組んでいます。悩みがあるけど、いきなり専門機関には相談しづらい、またはどこに相談すればいいかわからない、そんな時は、まずは私たち民生

委員にご相談ください。どんな些細なことでも結構です。地域の頼れる存在として、皆さんが抱える心配ごとの解消や問題解決のための一助となるよう、努めてまいります。

